

# 松江城を守るための樹木伐採

～頂いたご意見についての松江市の考え～

【期間：令和4年10月1日～令和5年1月19日】

～伐採木の有効活用アイデア募集～

松江城・史料調査課

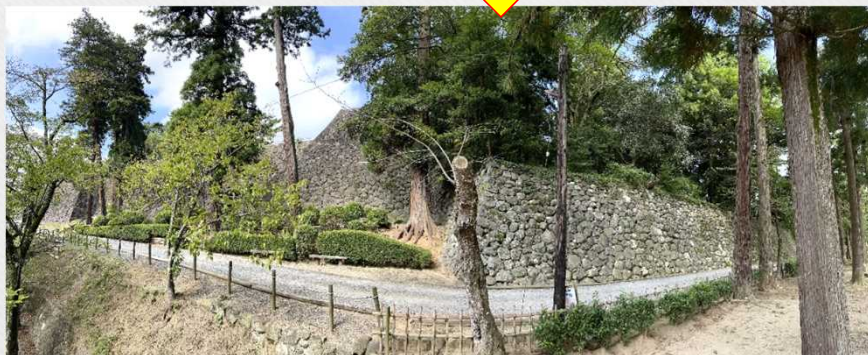


## Ⅰ.「築城時の景観を見たい」

- 城下から天守を望むことができないのは寂しい。
- 天守が見えるように樹木整理を進めて欲しい。

### 【**松江市の考え**】

- 松江のシンボルである松江城天守を城下から望むことができるように、自然環境豊かな景観とのバランスを図りながら、樹木整理も含めた「魅力ある松江城」の整備に取り組んでまいります。



【現状】



【伐採後】



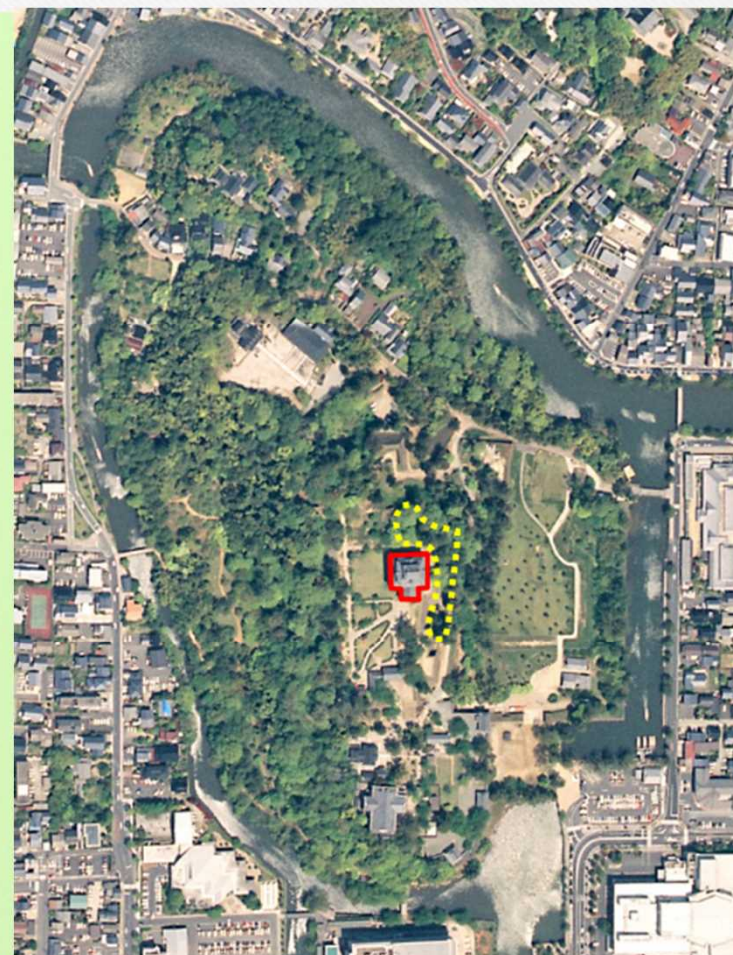
## 2. 「現在の樹木のある景観が松江城にとって大事」

- 「緑と水」が松江らしさ。
- 樹木自体が松江城にとって大切な景観を創出している。

### 【松江市の考え】

- 今回の伐採は、天守を火災から守り、石垣を保護し、将来に継承するために必要と考えています。
- 緑豊かな景観も松江城にとって重要と捉えており、伐採範囲は必要最小限にとどめています。
- 石垣の上に天守がそびえ立つ築城時の景観が甦ります。

【参考】伐採対象本数=49本（樹木総数の1.5%）  
伐採対象面積=約3,000㎡（城山公園全体の1.8%）





### 3.「伐採以外にも防火対策が必要」

- 「防火施設の一層の拡充と充実」、「城内の電気施設の保守点検」など、他にやるべきことがあるのではないかな。

#### 【松江市の考え】

- 防火対策を強化するため、消防機器を最新のものに更新し、拡充します。（令和5～6年度）
- 電気設備の保守点検は、毎年2回実施しており、今後も継続して行ってまいります。
- 「松江城自衛消防隊」を組織し、毎年放水訓練を実施するなど、万一の事態に備えた体制を整えています。



放水銃（既存）



屋外消火栓（既存）



放水訓練



#### 4.「伐採が石垣や生態系に悪影響を及ぼすのではないか」

- 地震時の石垣崩落など、色々な災害を引き起こす可能性が高い。
- 生態系も視野に入れた防災計画に見直して欲しい。

##### 【**松江市の考え**】

- 熊本地震で、熊本城の石垣に大きな被害が発生した箇所は、明治以降に修理された石垣が中心であり、樹木伐採との因果関係は明らかになっておりません。
- 動植物の専門家による現地調査の結果、今回の対象地に貴重な動植物はなく、周辺に与える影響もないことを確認しています。



熊本城（平成28年  
熊本地震被害）



# 今後の取組み

## ①頂いたご意見に対する回答

○ホームページにご意見に対する回答を掲載  
※令和5年1月17日から公開中



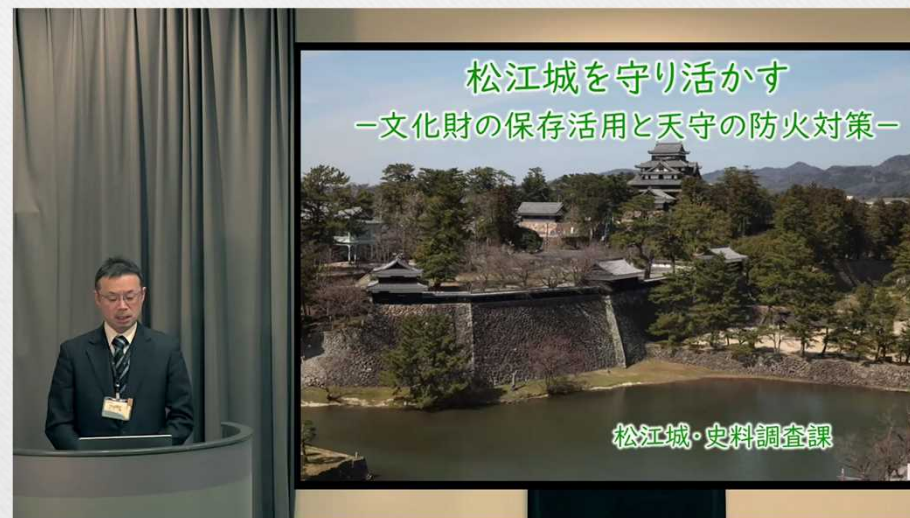
本市ホームページ

## ②松江城の保存活用についての考え方を発信

○「松江城web講座」で動画配信

「松江城を守り活かす  
ー文化財の保存活用と  
天守の防火対策ー」

※令和5年1月20日から公開



## ③伐採木の有効活用アイデア募集

○ホームページ上で活用策を募集（次ページ参照）

※令和5年1月20日から募集開始



# 伐採木の有効活用アイデア募集

本市ホームページからアイデアをお寄せください！

## 【概要】

(趣旨) 伐採木を有効活用して、松江城のPRにつなげます。

(対象) 幹径が比較的大きく、再利用が可能と思われる14本  
(スギ10本、ヒノキ1本、マツ1本、タブ1本、ムク1本)

## 【有効活用イメージ(例)】

○公園用ベンチやサイン材 ○バッジなど記念品

※それ以外の木についてもバイオマスチップまたはパルプに活用予定



ベンチ



サイン



バッジ



# 国宝松江城を後世に伝えるために

松江の誇りである松江城天守を火災から守り、将来に伝えるため、次の事業を行います。

## ①樹木伐採

令和5年1月末～3月末

※一部園路で通行制限が必要になる見込みです。  
その日時や迂回路は、別途お知らせします。

## ②防災施設等整備工事

令和5年6月末～令和7年3月末

※防火設備、消火設備、防犯設備等を更新し、  
松江城を守るための万全な対策を実施します。

